

主催：カトリック札幌教区正義と平和協議会

石田國夫さん平和講演会

中央道開削工事・

常紋トンネル工事の

実相に触れる…



the Catholic Diocese of Sapporo

2023年
日本カトリック
平和旬間 8/6~15

参加無料

2023年 8月5日(土) 13:30～ 開場：13:00

札幌教区カトリックセンター＋オンライン配信
札幌市中央区北1条東6丁目 ZOOM 使用

*会場参加の方は、申し込み不要です
*感染拡大に注意の上ご来場ください

明治24年5月～12月、この非常に短い期間に旭川と網走を結ぶ国道、中央道の開削工事が行われました。また大正元年から三年の歳月をかけ、石北本線（旭川～網走間）の常紋トンネルが建設されました。どちらも北海道の中央を貫く山々を削る困難を極める工事であり、非人道的な「タコ部屋」労働の末、多くの労働者が犠牲になり、今も掘り起こすことのできない百数十を超える死体があるとも伝えられています。

「枕木1本、人1本」

「死んでからもレールを担ぐのは嫌だ!…」

残された証言から工事の実相をうかがい知ることができると思います。いったいどんな工事だったのか、どんな人々がこの工事を担ったのか…

北海道開拓の現場の実相… その非人道的性は、現在における外国人労働者への日本の対応にも通じるものがあるのではないのでしょうか。

今年の平和講演会では、「郷土を掘る会」の石田國夫さんを講師にお招きし、非人間的環境下での労働実態についてあらためて見つめ直し学びたいと思います。

*お問い合わせ=090-1641-9595 (正平協：佐藤裕子)

*オンライン参加をお申し込みの方は、以下のURL、またはQRコードから申し込みフォームへどうぞ (メ切：8/4 19:00)

<https://forms.gle/fcawc2Z4GRPFhcAo7>



講師/石田國夫さん
・北26条教会信徒

『郷土を掘る会』元代表。教師を続けながら長年に渡って郷土史を研究。特に過酷な労働の実態や戦争の悲劇など「負の歴史」に正面から取り組み、たくさんの実地検証、ヒアリングによって貴重な記録を多数残している。元札幌地区正義と平和委員会代表。



そして秋、ともにその現場へ足を運んでみませんか？

札幌正平協では、国道沿いに点在する「中央道開削工事犠牲者の碑」と、留辺蘂町の元金華小学校跡地に建てられた「常紋トンネル工事受難者追悼碑」、さらに当時のタコ部屋の状況を再現している網走監獄博物館や現在も鎖塚の残る場所などを巡るツアーを計画しています。毎年秋、道東のカトリック・プロテスタントの有志が、「2つの碑」を隔年ごとに訪れ行う追悼式にも合流します。